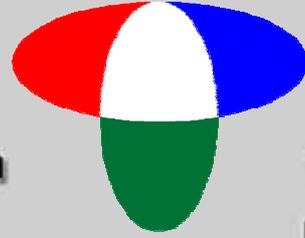


津 軽 広 域 連 合

だより VOL.25 Mar. 08

Hirosaki
Kuroishi
Hirakawa
Fujisaki



Itayanagi
Owani
Inakadate
Nishimeya

tel 0172-39-7200 fax 0172-39-7201
tugarukoiki01@net.pref.aomori.jp
http://www.net.pref.aomori.jp/tugarukoiki/

津軽広域連合議会の動き

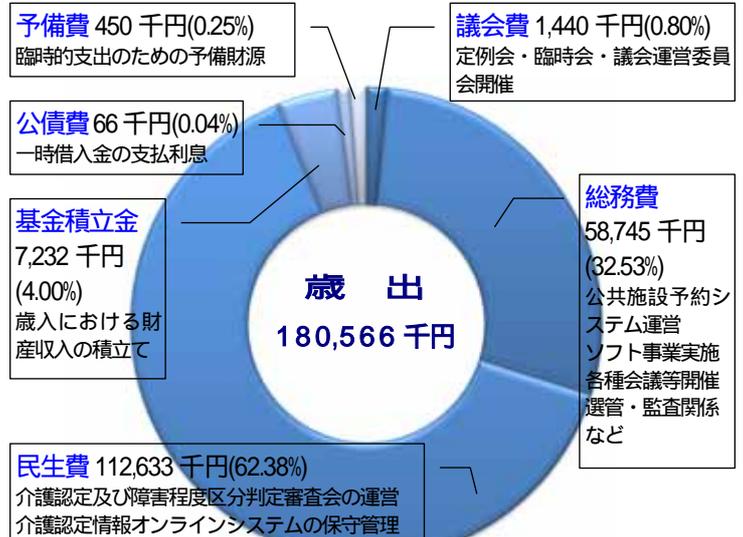
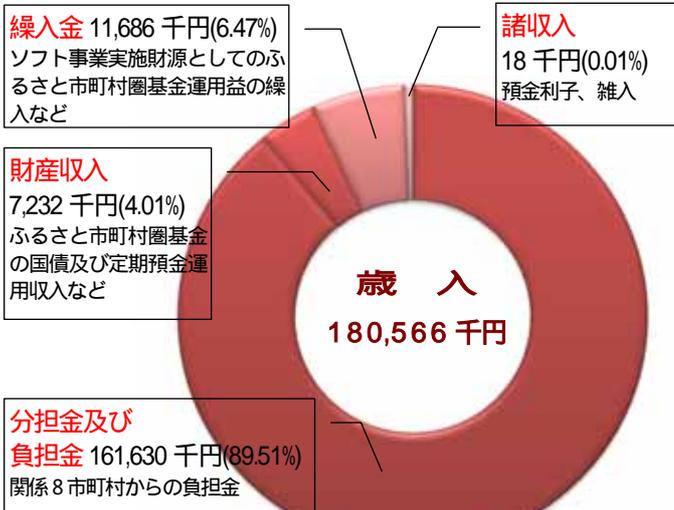
平成20年第1回津軽広域連合議会定例会が2月22日に、弘前地区環境整備センターにおいて開催されました。会議では、平成19年度補正予算(第2号)、平成20年度当初予算のほか、同年4月1日を施行日とする情報公開・個人情報保護関連の条例並びに職員の育児休業等に関する条例の一部改正案の4条例案について審議され、全ての案件が原案通り可決されました。

平成20年度津軽広域連合主要事業概要

〔総務企画関係〕	
公共施設予約システムの管理・運営	1,929千円
ふるさと市町村圏基金運用益活用事業(詳細次頁)	5,186千円
正副広域連合長会議の開催等	88千円
情報公開・個人情報保護審査会関係	199千円
〔介護認定関係〕	
介護認定審査会の運営	54,900千円
介護認定情報オンラインシステムの保守管理・機器更新	2,457千円
〔障害判定関係〕	
障害程度区分判定審査会の運営	3,045千円

平成20年度 一般会計 当初予算

平成20年度津軽広域連合一般会計予算は、歳入歳出それぞれ1億8,056万6千円とするもので、障害担当職員の現員を1名削減し、さらに事務費の節減に努めた結果、前年度と比較して約6.4%減となっております。同年度中に実施する主要事業の概要を上記に、各費目の予算額、関係市町村負担金、並びに歳出予算の性質別内訳などを下記に示します。



内訳

関係市町村負担金 (単位: 千円, %)

市町村名	負担金額	構成比
弘前市	90,662	56.09
黒石市	17,685	10.94
平川市	18,890	11.69
藤崎町	9,501	5.88
板柳町	9,713	6.01
大鰐町	7,410	4.58
田舎館村	5,287	3.27
西目屋村	2,482	1.54
計	161,630	100.00

歳出予算の性質別内訳 (単位: 千円, %)

性質別	予算額	構成比
人件費	153,991	85.28
物件費	14,428	7.99
補助費等	4,399	2.44
公債費	66	0.04
積立金	7,232	4.00
予備費	450	0.25
計	180,566	100.00

平成20年度ふるさと市町村圏基金運用益活用事業

津軽広域連合では現在、関係市町村及び県からの出資により積立てた「ふるさと市町村圏基金」を、国債と定期預金により運用しており、その運用益を活用し、地域の活性化と圏域の一体的な発展を図るための様々な事業を実施しています。平成20年度は下記の10事業を実施する予定です。(事業費合計：5,186千円)

01 津軽広域懇談会開催事業

広域連合が実施する事業に圏域住民の声を反映させるため、住民の代表からなる懇談会を組織しています。今年度は3回の開催を予定しており、新ふるさと市町村圏計画の広域活動計画、新たなソフト事業などについて協議します。

02 津軽の名人・達人バンク事業

圏域住民の生涯学習活動の推進を図るため、様々な分野で活躍している人材の登録者名簿を作製し、関係施設へ配布しています。
名人・達人講師派遣事業
圏域内の幼稚園、保育所、小中学校、高校、老人福祉施設等へ「名人・達人」の講師派遣を行い、経費の一部を広域連合が負担します。
登録者交流会の開催
登録者同士の意見交換やネットワークづくりを行っています。



03 連合だより発刊事業

広域連合の業務や事業 PR と、関係市町村のイベント・観光情報を住民に周知するため、年3回広報紙を発行しています。



04 広域情報発信事業

広域連合ホームページの情報管理を行います。「見やすい・わかりやすい」を目標に、リアルタイムで最新情報を提供します。なお、更なる内容充実に努め、3月中の全面リニューアルに向けて鋭意作業中です。



05 広域人材育成セミナー開催事業

広域的視点を持った人材を育成するため、関係市町村職員を対象としたセミナーを開催します(年1回開催)。



06 特産品PR事業

仙台市勾当台公園で開催されるハイウェイコミュニケーションin東北(主催：東日本高速道路株)に参加し、圏域の観光情報 PR 及び特産品の販売などを行います。(9月中旬頃予定)



07 ふるさと探訪バスツアー開催事業

圏域内の隠れた名所等をバスで巡回し、そこにまつわる歴史的背景や様々なエピソードに触れることで、ふるさとのすばらしさを再発見・再認識するとともに、住民相互の交流を図ることを目的に実施します。(9月上旬頃予定)



08 津軽広域連合職員研修等参加事業

広域事務に関する企画立案能力の向上と広域連携意識の醸成を図るため、全国ふるさと市町村圏協議会が主催するシンポジウム・セミナー等に参加します。(随時)

09 new! とっておきの津軽大賞コンテスト開催事業

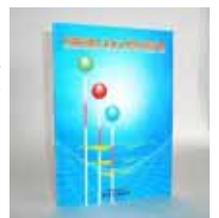
“津軽”を見つめ直し、地域づくりや伝統文化の保存・伝承の大切さなどについて理解を深めることを目的とし、写真・川柳コンテストを開催します。優秀作品に対しては、副賞として商品券、圏域特産品詰め合わせセット等を贈呈する予定です。なお、作品は圏域内施設等にて展示し、また当広域連合 PR に活用します。(10~12月頃予定)



あまぎ山
岩木山
岩木山

10 renewal! 新ふるさと市町村圏計画策定

津軽広域連合において、圏域の一体的な振興発展を図るために策定している「ふるさと市町村圏計画」が平成20年度をもって終了となるため、平成21年度を初年度とする新たな計画を策定します。
策定に当たっては、津軽広域懇談会委員の意見をふまえ、関係市町村の事務担当者からなる作業部会で9月頃までに素案をまとめ、正副広域連合長会議等における協議を経て、平成21年2月開催予定の津軽広域連合議会定例会で議決する予定となっています。



情報公開・個人情報保護制度の開始

津軽広域連合では、より住民に身近で透明度の高い広域行政運営を図るため、平成20年4月1日から情報公開及び個人情報保護制度を開始します。ここに、各制度の概要を説明します。

【情報公開制度】

当広域連合が保有する情報（文書・図面・写真など）を、どなたからの求めにも応じて公開するものです。ただし、請求された情報を開示することによって、個人のプライバシーが侵害されたり、公共の利益が損なわれたりする場合などは開示できないことがあります。

【個人情報保護制度】

当広域連合が保有する個人情報について一定のルールを設け適正な取扱いに努めるとともに、当広域連合が保有する自分の個人情報について、開示や訂正を求めることができます。ただし、公共の利益が損なわれたりする場合などは開示できないことがあります。

【異議申立て】

開示の決定に不服のあるときは、その決定をした実施機関（広域連合長、議会、選挙管理委員会、監査委員）に異議申立てをすることができます。この際実施機関は原則として情報公開・個人情報保護審査会へ諮問し、その答申を尊重し開示の可否を決定します。

情報開示の流れ



平成19年度広域人材育成セミナー開催 ～ 広域圏における地域連携と政策 ～



2月18日、弘前市総合学習センターにおいて、弘前大学教育学部教授・同副学部長であり、当広域連合に設置する津軽広域懇談会の座長でもある北原啓司氏を講師に迎え、関係8市町村と津軽広域連合の中堅職員27名を集めて広域人材育成セミナーを開催しました。「広域圏における地域連携と政策」をテーマとした講演において、同氏は、「市町村合併時代の今こそ、広域連合の理念である微分のまちづくり（小さな視点から身近な一つの単位・コミュニティをしっかりと保持していくこと）が大切である。」と述べられました。

講演後、参加者は3つのグループに分かれ、新たに広域連携が可能な事務事業について討議し、『消防・病院・給食センターの整理・統合』などの広域的組織の体制整備に係るものから、『広域温泉利用券の配布』、『各種ボランティアの相互交流とネットワークづくり』、『事務用消耗品の共同発注』といったものまで、さまざまな提案が各グループから発表されました。

なお、津軽広域連合では市町村職員や一般住民を対象としたセミナー等を、各回毎にテーマを定め、今後も開催する予定です。

ふるさと探訪バスツアー参加者レポート

昨年9月2日に実施した「ふるさと探訪バスツアー」参加者から寄せられた感想を一部紹介します。知ってるようで知らない津軽の隠れた名所を皆さんもぜひ一度訪れてみてはいかがでしょうか。今号ではBコースとして訪問したところを紹介します。(Aコースは前号(昨年12月発行)にて掲載済みです。)



公園内にある唐糸御前の像

1 唐糸御前史跡公園(藤崎町)

唐糸御前の伝説を初めて知りました。時の権力者、実力者である北条時頼が津軽まで来たとは信じられません!(T.Cさん72歳)

今まで何気なく通ってたところでしたが、唐糸御前の人となり、また、寺と寺との関わり等いろいろつながりがあることを知りました。(K.Sさん62歳)

2 黒森山浄仙寺(黒石市)

森の奥深い山寺は「あやめ」の名所として一度は訪れたいと思っていた。せみやトンボが我を迎えてくれ、森の緑と泉水に心洗われた。秋田雨雀のエピソードと共に「ひとさしをわが手のひらにおしあてて文字を教えし父のなつかし」の歌碑に感動した。(A.Kさん64歳)

3 中町こみせ通り(黒石市)

私、黒石と云う所は年に一回のよされ踊りより頭に無かったが、今回こみせ通りの説明を聞いて見学していっぱい教えてもらいました。もう一度ゆっくり見たいです。(T.Iさん73歳)

ただ通り過ぎているだけで詳しい事も知らなかったのですが、今回のツアーでガイドの方の話が聞けて、又普段見ること出来ない旧家の中を見せてもらえて楽しかったです。(K.Kさん63歳)



ツアー昼食時に事務局職員O氏が食べた黒石名物「つゆやきそば」

4 埋蔵文化財センター(田舎館村)

三内丸山遺跡のことはよく知られて行ったこともあるが、垂柳遺跡はちょっと聞いた事があるかなという認識しかなかった。説明を聞いて、東北地方で初めて発見された弥生時代の水田跡で、日本の歴史を大きく変えた学術的にも貴重な遺跡と知り、今回のツアーに参加して見学することが出来て大変よかった。大昔の人は大男で大足の印象があったので、水田跡に残された足跡が意外に小さいのにビックリしました。(E.Sさん58歳)

5 田んぼアート(田舎館村)

テレビ・新聞で知ってはいましたが初めて見学しました。実際見たら「すごいー!」と思わず声が出てしまいました。どんな風に植えるのか田植えに興味が出てきたりして。見学待ちの2時間と言う話にもびっくりしました。津軽のディズニーランドかー。(Y.Iさん43歳)

介護保険制度 障害者自立支援制度

調査研究プロジェクトチーム会議を開催しました

去る2月29日に樋の口分庁舎において、介護保険制度及び障害者自立支援制度調査研究プロジェクトチーム会議を各々開催し、平成19年度の審査状況並びに平成20年度の審査会体制や



予算等の案件を審議し、全て原案通り了承されました。

このプロジェクトチーム会議は、介護保険事務と障害判定事務を広域的に処理するにあたって生ずる様々な問題や対応方法等について協議するため、関係8市町村の担当課長により設置されているものです。

また、プロジェクトチーム会議の下部組織として、課長補佐・係長レベルの職員で構成される幹事も設置しており、会議を随時開催し、実務職員の立場で意見・情報交換等を行っています。

これらの協議や調整を通じ、今後も広域連合と関係市町村との連携・協力体制を強化していきます。

津軽広域連合 は、弘前市・黒石市・平川市・藤崎町・板柳町・大鰐町・田舎館村・西目屋村の8市町村により、介護認定及び障害程度区分判定審査・各種ソフト事業などの様々な事務事業を共同で実施する **特別地方公共団体**です。
お問合せ: ☎036-8276 青森県弘前市大字樋の口町260番地4 TEL0172-39-7200



宝くじは
豊かさ築く
チカラ持ち。

宝くじは、広く社会に
役立てられています。

